

# 平成19年度 決算報告書

平成19年度 決算報告書

国立大学法人熊本大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	16,382	16,457	75	(注1)
施設整備費補助金	2,643	2,007	636	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	135	555	420	(注3)
国立大学財務・経営センター				
施設費交付金	58	58	0	
自己収入	21,925	24,034	2,109	
授業料、入学料及び検定料収入	6,226	6,351	125	(注4)
附属病院収入	15,061	17,147	2,086	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	638	536	102	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金				
収入等	3,288	3,323	35	(注7)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金	1,005	937	68	(注8)
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	0	1	1	(注9)
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	37	808	771	(注10)
計	45,473	48,180	2,707	
支出				
業務費	25,810	31,870	3,360	(注11)
教育研究経費	15,702	15,291	411	
診療経費	12,808	16,579	3,771	
一般管理費	7,147	5,015	2,132	(注12)
施設整備費	3,706	3,002	704	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	135	555	420	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金				
事業費等	3,288	2,948	340	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,687	3,031	344	(注16)
国立大学財務・経営センター				
施設費納付金	-	-	-	
計	45,473	46,421	948	
収入 - 支出	-	1,759	1,759	

予算と決算の差異について

- (注1) 外国製品の契約変更分について、納期が繰越し債務分の決算額が105.4百万円多額となった。また、債務使用予定額を30.4百万円使用せず決算額を減額した。
- (注2) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、627百万円繰越を行い、9百万円減額して執行したため予算額に比して決算額が少額となっている。
- (注3) 各種補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が420百万円多額となっている。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料については、在籍者数の増に伴い、予算額に比して決算額が125百万円多額となっている。
- (注5) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮等を含め、増収努力に努めたこと等により予算額に比して決算額が2,086百万円多額となっている。
- (注6) 雑収入については、主として間接経費等の増を多額に計画していたため、予算額に比して決算額が102百万円減額となっている。
- (注7) 外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が35百万円多額となっている。
- (注8) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が68百万円少額となっている。
- (注9) 予定していなかった和解金が発生したため、予算額に比して決算額が1百万円多額となっている。
- (注10) 各学部において、教育、研究、診療環境の改善を図ったため予算額に比して決算額が771百万円多額となっている。
- (注11) 診療経費については、増収に伴う医薬品の増、看護師の増を図ったため、教育研究経費及び一般管理費より予算を振替えたため、予算額に比して決算額が多額となっている。
- (注12) 教育研究経費及び診療経費へ振替えたため、予算額に比して決算額が2,132百万円少額となっている。
- (注13) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が704百万円少額となっている。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が420百万円多額となっている。
- (注15) (注7)に示した理由等により、受入額の増加及び繰越額が増加したため、予算額に比して決算額が340百万円減額となっている。
- (注16) 中央診療棟開院に伴い、医療機械の早期借入実施したため、予算額に比して決算額が344百万円多額となっている。